大陸日報號外

發行兼編輯人　山崎寧

本社特電

我が長沙爆撃の犠牲
將介石は兩足に重傷說
宋子文も腹部負傷と傳ふ
其他要人多數爆死

上海十六日(同盟通信)――去る十日我が海軍航空隊の長沙爆撃による蔣介石、宋子文の生死に關し其後當地某方面に達した情報によれば蔣介石、宋子文ともに當時長沙の中央軍政指揮所にあり、我が空爆のため蔣介石は兩足に、また宋子文は腹部にそれぞれ重傷を受け、其他要人の爆死したものも多數にのぼり、負傷した蔣、宋兩名は應急手當の上夜に入つて嚴重な警戒裡に何處かに運び去られたと言はれる、尚我が長沙空襲には敵は全く不意をつかれ長沙は空襲警報を發するいとまもなく我が爆撃の雨にさらされ同地飛行場にあつた戰鬪機も飛び上るすきもなく爆撃されたと傳へられる(寫眞は蔣介石)

(長沙は漢口と廣東を結ぶ粵漢鐵道にあり漢口の南方二百哩に位してゐる、なほ中央軍政指揮所は長沙城外の岳麓山の麓にあり我が爆彈は同所にまともに當つたことは事實である)